

令和3年度 事業報告書



自 令和3年4月 1日
至 令和4年3月31日

一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構

夢を育み、未来を創る街

一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構

令和3年度事業報告書 目次

1	令和3年度の総括	2
2	事業活動の内容	3
(1)	技術シーズの事業化支援	
①	茨城県次世代技術活用ビジネスイノベーション推進事業ビジネスプラン実証支援(県 BI)	
②	医工連携イノベーション推進事業(AMEDO)	
(2)	プラットフォーム(共創場)の構築	6
①	つくばにおける技術相談のワンストップ窓口による支援	
②	つくばイノベーション・エコシステム構築に向けた合同連絡会の開催	
③	交流の場の提供(つくばイノベーションプラザの活用)	
(3)	特区プロジェクトに対する横断的な支援及びその他の活動	7
①	特区プロジェクトの推進による産業化支援	
②	つくばライフサイエンス推進協議会(TLSK)の運営	
(4)	筑波研究学園都市における国際化の推進に関する事	10
①	ハイレベルフォーラム2021への参加	
(5)	情報発信活動	11
①	ウェブサイトを活用した情報発信、広報媒体の強化	
②	各種イベント、会合等の開催	
3	会員との連携活動の推進	15
4	法人の運営に関する事項	15

1 令和3年度の総括

一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構（TGI）は、つくばにおける科学技術の集積効果を最大限に活用し、イノベーションを絶え間なく創出する「つくばを変える新しい産学官連携システムの構築」のため、これまでに、政府の「つくば国際戦略総合特区事業（平成26年度～）」、文部科学省補助事業の「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム事業（平成28年度～令和2年度の5年間）」さらには茨城県委託事業「次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業（令和2年度～令和3年度）やAMEDの医工連携イノベーション推進事業（令和3年度～）」などの様々な事業（獲得）を通じて、TGI事業達成の目的でもある「プロジェクトの創出」、「プラットフォーム（共創の場の構築）」、「産学官連携及び事業化・産業化に向けた調査、研究及び開発」、「人材育成並びに専門的支援」、「国際化の支援」、「情報の共有及び発信」、「人材の育成支援」など、茨城県、つくば市、筑波大学及び研究機関等と連携しながら取り組んでいます。

今後もこれまでの事業で培ったノウハウ、成果を活用しながら、つくば発のイノベーションの創出が自律的に継続できるシステム・環境づくりを目指すハブ機関として、行政や大学、研究機関、企業などと連携しながら、様々な事業の推進・支援活動を積極的に行ってまいります。

2 事業活動の内容

(1) 技術シーズの事業化支援

① 茨城県次世代技術活用ビジネスイノベーション推進事業ビジネスプラン 実証支援（県 BI）

茨城県は、令和元年度より中小企業等が次世代技術・革新技術を取り入れ新ビジネス創出することで競争力強化を図る「次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業（内閣府地方創生推進交付金事業）」（以下、県 BI 事業という）として、IoT・AI 等の知識や技術の習得、ビジネスプラン構築のための研修を行い、実現可能なレベルのビジネスプランを対象に審査会を開催、審査会翌年度に優秀プランに選ばれた3社についてプランを実証し事業化を目指す「ビジネスプラン実証支援事業」に取り組んでいる。昨年度に続き当機構が企画提案公募に応募し、採択となったことから、当該事業の支援を担当する事務局として本業務に取り組んだ。県 BI 事業の統括プロデューサー、茨城県、茨城県産業技術イノベーションセンター（以下、センターという）と協働し、支援企業が立案したビジネスプランが企業の新事業の柱となることを目標に、事業化のために必要な課題の解決などのメンタリング支援に取り組んだ。具体的には、新規事業のためのビジネスプラン実証のための実施計画に対し資金的助成を行い、IoT 導入による生産工程の効率化や試作・製品開発を支援、資金の適切な運用や技術開発のための知財戦略検討、ニーズ調査・自社製品ブランディングによる分析・営業力強化など技術経営マネジメントも取り入れ、テーマごとのメンタリング支援、さらに事務局として、メンターや資金執行等の管理、メンタリング記録の作成等、事業管理に資する業務全般についても行った。

【実施業務】

- ・「ビジネスプラン実証」のための資金的助成支援：1社あたり500万円を上限に、ビジネスプランを実証し事業化につなげるための当該期間中の計画について資金的支援、資金の適正使用のためのメンタリング等を実施。
- ・選出プラン実証にかかるメンタリング支援：統括プロデューサーと相談の上、前年度のビジネスプラン構築研修で当該企業の支援を担当していたメンターをメインメンターに据え、更に必要な支援にあわせ専門人材をスポットメンターとして配し、当機構の各専門性をもつスタッフも参画し、事業化にむけメンタリングを実施。開発等へのアドバイスや特許・ニーズ調査からブランディング、知財戦略・営業戦略立案のための支援までを実施。
- ・選出プランによる成果を事業化につなげるための支援：COVID-19の影響により、将来顧客へのPR、ニーズ調査等と目的とした各種展示会出展等が概ねできないことから、支援企業の取組についてTGI公式ホームページ掲載と日刊工業新聞社への取組紹介記事と成果広告の連動記事を掲載（令和4年3月22日・全国版）、販路開拓に支援も広く実施。

【支援対象企業（優秀プラン選出企業）と取組みテーマ（ビジネスプラン）】

・株式会社久力製作所

テーマ：防犯レベルとユーザーの使い勝手を向上した引き戸用鎌錠の開発
新規構造の防犯・操作性・交換に優れた引き戸用鎌錠を提供し、デジタル技術を活用し製造工程や検査工程の自動化を推進し国内シェアトップを目指す。

・株式会社 クリアタクト

テーマ：AI 画像認識技術を活用した医療備品検査サービスの提供
定期点検が必要な医療備品について、AI 画像認識技術を活用した自動検査技術によるサービスを提供し、医療業界のバックヤード業務削減を目指す。

・株式会社ツインカプセラ（JAXA 発ベンチャー）

テーマ：超高性能輸送用保冷・保温コンテナの提供
国際宇宙ステーションから宇宙実験サンプルの回収に成功した JAXA の大気圏再突入回収カプセルの断熱保冷容器技術を応用し、超高性能断熱保冷・保温容器を開発、高度な温度管理が必要な課題の解決に貢献することを目指す。

**めんどろな検査・管理を
手間なく簡単に！**
医療用X線防護衣 解析/管理システム



従来の検査同様の作業時の
検検で穴やキズを自動検知
・検査時間の短縮
・検査品質の標準化

・検査履歴をクラウドで一括管理

ファームウェアからAIまで、ソフトウェア領域を中心にお客様の課題を解決します

組込システム制御 IoT スマートフォンアプリ WEBシステム AI 画像/因果推論

CreaTact ソフトウェア企画・開発・販売
株式会社クリアタクト 茨城県水戸市元宮田町1041-4サンビルディング4F
TEL 029-350-7288 https://www.creatact.co.jp

**茨城県 次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業
尾崎興明様「ロボットユーザー」に聞く**



尾崎氏
「ロボットユーザー」は、計画的な
ラフを計画できるような
作業環境を、事業
の進捗に合わせた
別の現場に導入し、
一歩進んだ作業
環境を実現する
ことが、事業の
発展に大きく
貢献するのでは
ないかと考えて
います。

「ロボットユーザー」は、計画的なラフを計画できるような作業環境を、事業の進捗に合わせた別の現場に導入し、一歩進んだ作業環境を実現するのではないかと考えています。

**スタートアップ的手法
地域中小にインストール**

「ロボットユーザー」は、計画的なラフを計画できるような作業環境を、事業の進捗に合わせた別の現場に導入し、一歩進んだ作業環境を実現するのではないかと考えています。

**再突入カプセルの
“超”断熱保冷技術を
地上へ 社会へ**

JAXAの大気圏再突入回収カプセルで実証した
超高性能断熱保冷容器の開発成果を社会実装し、
温度管理が鍵となる様々な分野の課題解決に貢献します。



Twincapsula ツインカプセラ
断熱保冷容器
製品イメージ

305-0047 茨城県つくば市千現2-1-6
株式会社ツインカプセラ
https://twincapsula.co.jp/

業界初のマグネット式鎌錠

保育士などの人手不足による働き方改革や園内での事故防止への意識の高まりを受け、扉を閉めるだけで自動で鍵がかかる業界初のマグネット式鎌錠「NSオート鎌錠」を21年秋にリニューアル販売し、2022年1月末時点で累計販売個数13,000個、導入施設数約1,300数を突破いたしました。

CLオート鎌錠の特徴

- 業界初のマグネット式を採用
- 自動で鍵が閉まるため、幼稚園や保育園でチャイルドロックとして活用が進む
- 電力式の課題だった、電池切れや誤作動などのリスクを解消
- 施工を極力見えにくくしたスタイリッシュなデザインを実現

KURIKI 株式会社久力製作所
〒311-1724 茨城県行方市小貫 1681-1 ホームページ <https://www.kuriki-ss.co.jp/>
TEL 0291-35-2636 FAX 0291-35-2683 問い合わせ eiyou@kuriki-ss.co.jp

CLオート鎌錠はNUSッキリ鎌錠に続き、実証支援事業でリニューアルした久力ブランド製品です。

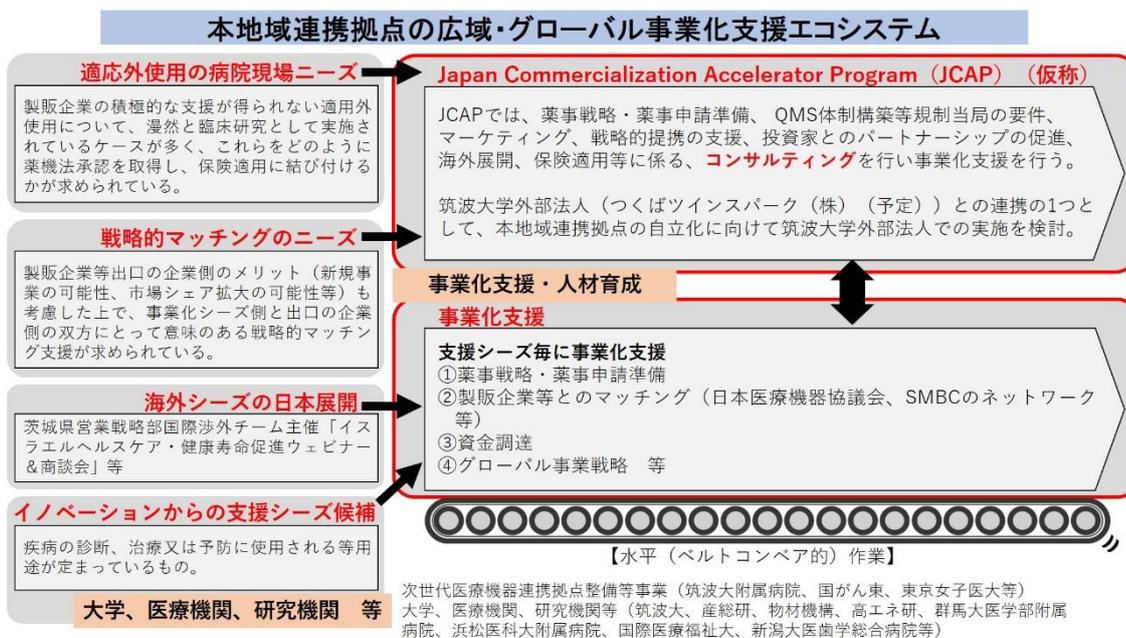
茨城県次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業【実証支援】(内閣府地方創生推進交付金事業) 新技術で挑戦する★茨城発の未来デザイン開発型の企業!

② 医工連携イノベーション推進事業（AMED）

「つくば医療機器開発地域エコシステムの基盤・支援体制の整備と自立化推進による医工連携シーズのグローバル事業化加速」を課題名に、令和3年度～令和4年度の2年間の実施としてAMEDより採択。

医療機器に関する豊富な研究シーズ群、および臨床ニーズを踏まえた研究開発支援組織、というつくば地域の2つの特色を活かしつつ、地域連携拠点として、必要な専門性を有する人材（事業化人材・専門分野人材）を広域で連携して自立的・流動的に確保する仕組み、またそれら人材を、当該地域の豊富な医療機器シーズを医療ニーズとマッチングさせて、医療機器の事業化を持続的に支援する仕組みを整備し、グローバル展開可能なエコシステム基盤を実現する。

令和3年度は、ニーズ・シーズマッチングの件数：7件、事業化コンサルティングの件数：5件実施した。



(2) プラットフォーム（共創場）の構築

① つくばにおける技術相談のワンストップ窓口による支援

企業、研究者等からの様々な技術相談（マッチング、起業、資金獲得等）を受け、つくばの各研究機関等とのマッチングや、TGI の専門スタッフによる相談対応によって課題の解決を図る、「つくばテクニカルコンシェルジュ（TTC）」を実施した。（相談の内容等に応じて、「TTC」と「架け橋」という2つの技術相談対応を実施していたが、令和2年度より両取組を「TTC」に統合した。）

今年度は、海外企業からの相談を含む、50件の相談対応を行い、機関の紹介・マッチングや、適切な情報提供を行うことにより、この内10件について共同研究の開始やプロジェクトの効果的な推進を達成した。

TTC 活動実績（H30年度までは「架け橋」の実績値を含む）

H29	H30	R1	R2	R3
41件	92件	123件	47件	50件

② つくばイノベーション・エコシステム構築に向けた合同連絡会の開催

つくば地域の連携、研究分野の融合を促進し、事業化に結び付ける機能の強化に向け、つくば地域各機関のコーディネーターの情報共有と、各機関の連携強化を目的とし「つくばイノベーション・エコシステム構築に向けた合同連絡会」を開催した。

本年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、従来の一同集合開催形式から変更し、Zoomによるオンライン開催とした。

○第20回合同連絡会（15機関、約30名の参加）

- ・日時：令和4年2月1日（火曜）15時00分～16時50分
- ・場所：Zoomによるオンライン開催
- ・参加機関：研究機関7機関、支援機関3機関、教育機関2機関、行政機関3機関
- ・開催内容：「PRシート」を用いて、各機関からの事業紹介、PR事項についてアナウンスを行った。アナウンス終了後は参加者からの質問を受付けた。
- ・承諾を得た参加機関の「PRシート」を、弊機構ホームページへ掲載することとなった。

③ 交流の場の提供（つくばイノベーションプラザの活用）

昨年度に引き続き、今年度もコロナ禍での在宅勤務を取り入れたため、事務室前のイノベーションサロンでの研究者や事業者等との科学技術相談等、必要以上の場の活用を極力避けたこともあり、コロナ禍前の積極的な活用には至らなかった。

(3) 特区プロジェクトに対する横断的な支援及びその他の活動

① 特区プロジェクトの推進による産業化支援

つくば国際戦略総合特区の推進をはじめとする地域の産学官金と連携したイノベーション創出拠点の形成に関する事業として、つくば市と一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構が共同して、主につくば国際戦略総合特区に係る既存プロジェクトの推進及び新規プロジェクトの創出並びに地域連携プロジェクトの創出、筑波研究学園都市における関係機関間の連携、情報共有並びにつくば国際戦略総合特区及び筑波研究学園都市に関する情報発信、筑波研究学園都市における国際化の推進等の事業を行った。

- ・つくば国際戦略総合特区に係る既存プロジェクトの推進及び新規プロジェクトの創出並びに地域連携プロジェクトの創出に関すること。

ア つくばイノベーション・エコシステム構築事業

イ つくば国際戦略総合特区に係るプロジェクトの推進

- ・イノベーション・エコシステムの活用（事業化支援 次世代がん治療（BNCT））

イノベーション・エコシステムを活用した事業展開の具体的な成果として、つくば国際戦略総合特区の事業の1つである「次世代がん治療（BNCT）の開発実用化」において、製販企業の候補企業を発掘し、筑波大学、高エネルギー加速器研究機構（KEK）との強力な連携の下、TGIが事業化に向けて、薬事承認申請の進め方、リスク分析、マーケティング等の支援を行った。

R3～ AMED医工連携イノベーション推進事業（地域連携拠点自立化推進事業）



■次世代がん治療（BNCT）の開発実用化

難治性がんにも有効な治療 医工連携の最高タッグ

【R3年度にTGIが事業化に向けて支援した主な取り組み】

- 製販企業の候補企業（東海村のBNCTを技術的に担い得る製造企業）の発掘
- 製販企業の候補企業への薬事承認申請に係る勉強会の開催
- BNCTに係る薬事承認申請の進め方、リスク分析等、事業化に目標を定めたコンサルテーション・知識化
- つくば国際戦略総合特区事業の成果としてプレス記者会見（「次世代がん放射線治療（BNCT）の研究開発グループが大出力・低放射化BNCT用照射装置・実証機による非臨床試験を開始」（令和3年10月15日））

② つくばライフサイエンス推進協議会（TLSK）の運営

（つくばライフサイエンス推進協議会の事務局を行います。TLSK ピッチ会と若手交を開催します。）

つくばライフサイエンス推進協議会（TLSK）は、大学、試験研究機関、産業、行政の連携・交流の促進を図るとともに、教育研究とその実用化を支援することにより、つくば地区のライフサイエンス分野における優れた特性をさらに伸ばし、教育研究・開発と産業の活性化を通じて地域および社会に貢献することを目的とし、当機構は本協議会の事務局を運営している。

活動内容としては、本協議会と協力、本協議会を基盤とした会員機関による国家プロジェクト等との連携及び支援や、海外を含めた当協議会の対外的な PR と連携を推進した。

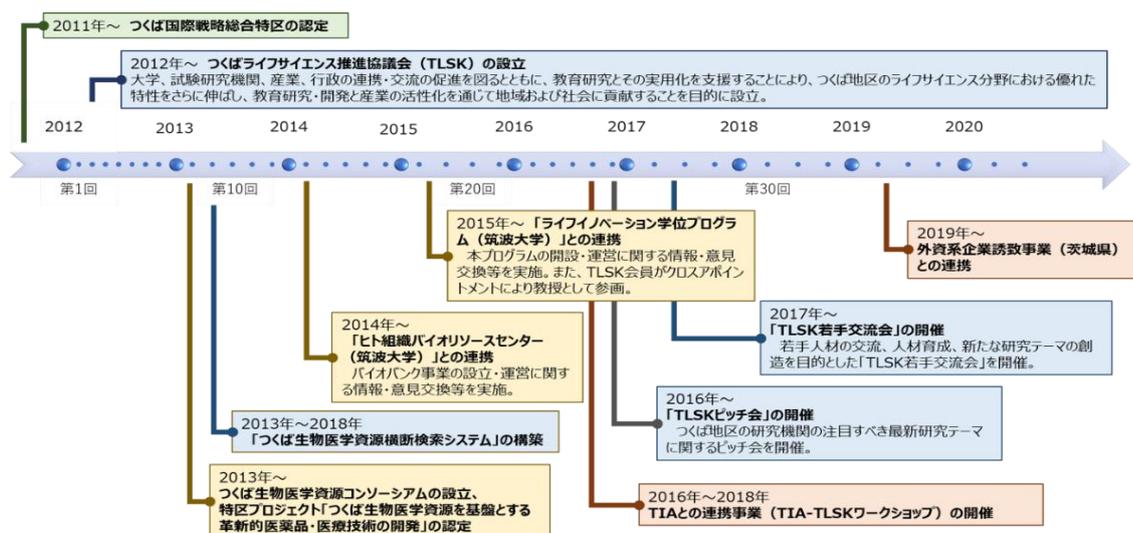
具体的には、令和2年度共創の場形成支援プログラム・政策重点分野／バイオ分野採択事業である「つくば型デジタルバイオエコノミー社会形成の国際拠点」プロジェクトとの連携の一環として、東京圏のバイオコミュニティである「GTB（グレートートウキョウバイオコミュニティ）」へ参画した。また、茨城県と連携し、Bio-M（独）との合同ウェビナーやイスラエル大使館と連携したオンラインピッチ会を開催し、海外機関との連携を推進した。また、会員機関によるピッチ会（3件）をオンラインで開催した。

・つくばライフサイエンス推進協議会 総会の開催

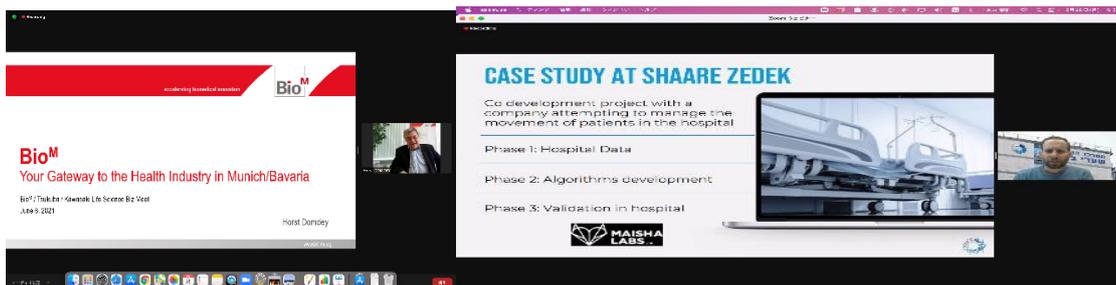
令和3年6月14日、令和3年12月24日、令和4年3月4日

・つくばライフサイエンス推進協議会 幹事会の開催

令和3年6月9日、令和3年12月14日、令和4年2月17日



（つくばライフサイエンス推進協議会 これまでの取り組み）



(海外機関との連携)

つくばライフサイエンス推進協議会 若手交流会

若手研究者の横のつながり形成や、組織の枠組みを超えた新規連携テーマの創出、人材育成を目的として、つくばの大学・企業・研究所の 40 歳未満の研究者を集めた「TLSK 若手交流会」を定期的で開催している。

本年度は第 3 期の活動として、若手の自由なディスカッションから新規テーマの創出を図ることを目的とし、ディベート方式でのグループディスカッションに取り組んだ。新たにメンバー募集を行い、7 機関から 14 名が参加している。本年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、一同に集合してのオンサイト開催と「Zoom」を使用したオンライン開催を併用した。

【令和 3 年度】

- ・第 1 回開催：令和 3 年 11 月 25 日
- ・第 2 回開催：令和 3 年 12 月 14 日
- ・第 3 回開催：令和 4 年 1 月 20 日 ※オンライン開催
- ・第 4 回開催：令和 4 年 2 月 15 日 ※オンライン開催

第 3 期の若手交流会はディベート方式のグループディスカッションに初めて取り組んだ。第 2 回開催までは、一同に集合し面前でのコミュニケーションをとり、ディベート実施に向けた準備を進めた。第 3 回開催時は「Zoom」を使用したオンライン開催となったが、全体参加のパートと、「ブレイクアウトルーム機能」を活用したグループディスカッションにより、会員同士の意思疎通や交流も図れた。第 4 回開催時には、オンラインでのディベートゲームを実施した。中には、定期開催とは別にグループ間で個別ミーティングを行うなどオンライン開催ならではの良さが散見され、本交流会が掲げる「組織の枠組みを超えた若手研究者の横のつながり」が実現できた。

(4) 筑波研究学園都市における国際化の推進に関すること

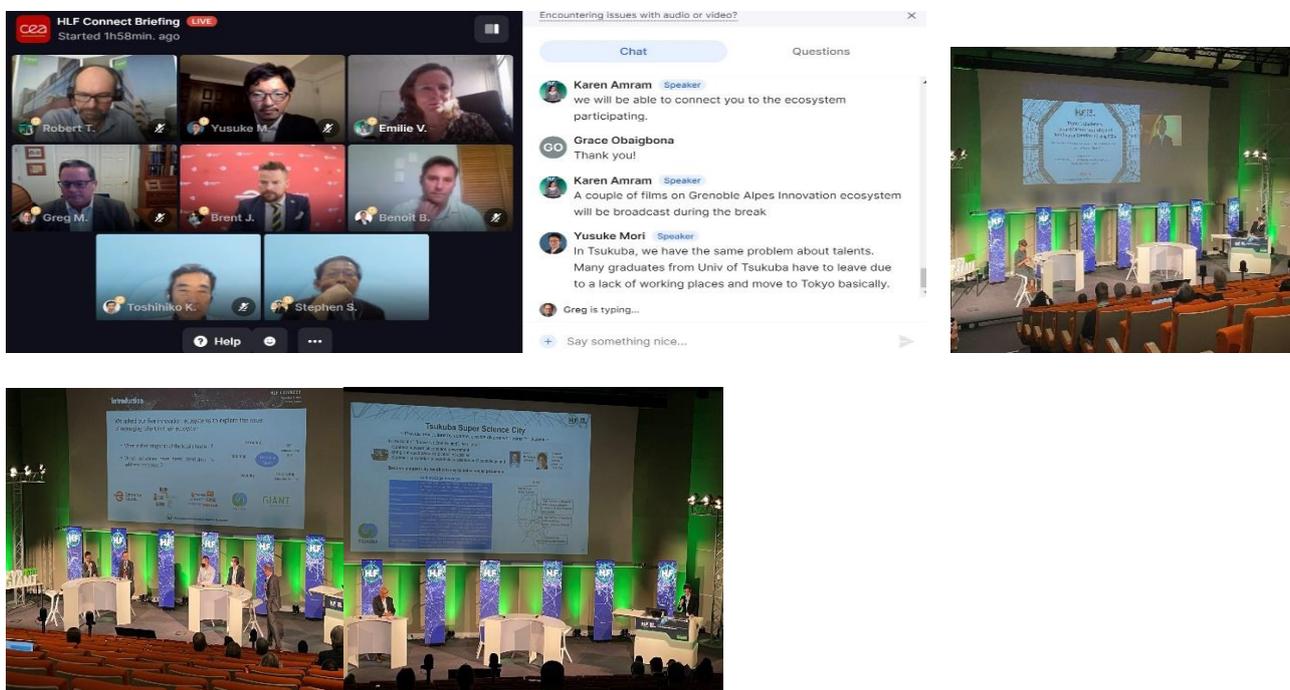
①ハイレベルフォーラム 2021 への参加

世界の主要なイノベーション都市から首長や研究拠点の長を集めて開催されるハイレベルフォーラムに参加した。TGI は、つくば地域の研究機関のハブ組織として、つくば市と共同でつくば地域の参加を取りまとめた。

2021 年度のハイレベルフォーラムは「強靱な社会を支える産業再創出のキープレイヤー」をテーマとし、2 フェーズで行われた。1 フェーズ目は令和 3 年 6 月 29 日に「HLF CONNECT BRIEFING」がオンラインで行われ、各地域の取組について発表がなされた。

2 フェーズ目は、令和 3 年 11 月 8 日から令和 3 年 11 月 10 日にかけて、昨年開催予定地であったグルノーブル（フランス）で、現地及びオンラインのハイブリッドで「HLF2021」が開催され、大枠としては 4 セッションにわたって講演及びパネルディスカッションによる討論がなされた。

つくば地域からは、「HLF CONNECT BRIEFING」においてはつくば市、産総研、防災科研の取組を発表したほか、産総研の金山特別顧問と、つくば市の森政策イノベーション部長が、パネルディスカッションのパネリストを務めた。また、「HLF2021」においてはトヨタ自動車と筑波大学と連携して行っている取組について発表するほか、つくば市の森政策イノベーション部長が現地参加し講演及びパネルディスカッションによる討論を行うなど、つくば及び日本の存在感を示せる場面が随所にあった。



(HLF CONNECT BRIEFING、HLF2021 でのつくば地域の参加の様子)

(5) 情報発信活動

① ウェブサイトを活用した情報発信、広報媒体の強化

令和3年度は、ウェブサイトを活用しTGI 関連イベント・技術ニーズ・競争的資金に係る情報発信のほか、関連機関からの要望によるイベントの周知を行った（機構 HP にニュース・イベント情報を 40 件アップ）。また、機構 HP に令和3年度に採択された「医工連携イノベーション推進事業（AMED）」のページを新規に開設し、「つくば医療機器開発地域エコシステムの基盤・支援体制の整備と自立化推進による医工連携シーズのグローバル事業化加速」の取り組みについて紹介した。

また、イノベーション推進拠点としての筑波研究学園都市の認知度を高めることを目的として「筑波研究学園都市紹介映像」を、市民に対するつくば国際戦略総合特区に関する認知度を高め、つくば区域のイノベーション推進への取組について理解を深めることを目的として「つくば国際戦略総合特区紹介動画」を作成した。機構 HP に動画を掲載することにより、現在行われているつくばの最先端の研究成果などをわかりやすく伝えることに貢献した。



② 各種イベント、会合等の開催

・「科学技術・イノベーション政策シリーズ」の開催

TGI では、中央省庁とのコラボレーションにより、「科学技術・イノベーション政策シリーズ」と題して、ホットな研究分野にフォーカスを当て最新の政策動向の共有と今後目指すべき方向性について議論する会を開催している。令和3年度開催実績は以下の通り（すべてオンライン開催）。毎回つくば地域の研究機関や企業関係者など 50

名以上の参加があり、政策側、研究者、自治体などそれぞれの立場から活発な意見交換が行われた。

- 第1回 令和3年7月27日 科学技術・イノベーション政策シリーズ①
「ライフサイエンス政策(コロナ関係研究含む)について」
- 第2回 令和3年8月23日 科学技術・イノベーション政策シリーズ②
「半導体分野の動向について」
- 第3回 令和3年9月21日 科学技術・イノベーション政策シリーズ③
「日本の研究力について」
- 第4回 令和3年10月25日 科学技術・イノベーション政策シリーズ④
「アントレプレナーシップについて」
- 第5回 令和4年2月22日 科学技術・イノベーション政策シリーズ⑤
「気候変動について」

科学技術・イノベーション政策シリーズ⑤
気候変動について

感染症、気候変動、少子高齢化など、世界の趨勢は目まぐるしく変化中、日本のイノベーション、科学政策のあり方は、国民の生命やQOL、さらに経済安全保障の面からも、強く問われています。その中心がまさにつくばであり、輝きを増すことが、茨城、さらに国益に資することになります。TGIでは、中央省庁や研究機関等とのコラボレーションにより、科学技術・イノベーション政策シリーズと題して、ホットな研究分野にフォーカスを当て、最新の政策動向の共有と今後目指すべき方向性について議論する会を開催します。

第5回は、気候変動と題して実施します。はじめに、坂口環境省脱炭素社会移行推進室長、江守国立環境研究所地球システム領域副領域長、向井国立環境研究所気候変動適応センター長、国光衆議院議員をお招きし、ご講演をいただきます。引き続き、森つくば市政策イノベーション部長も加わり、パネルディスカッションを行います。皆様のご参加をお待ちしております。

2022年
2月22日 火 10:00-11:45
Zoom開催 ※接続先は申込時に記入の電子メールアドレスにお送りします

オンライン開催要申込

内容

- ビデオメッセージ「研究学園都市つくばへの期待」
山口 壯 氏 / 環境大臣
- 講演「気候変動対策の最近の動向について」
坂口 芳輝 氏 / 環境省地球環境局総務課脱炭素社会移行推進室長
- 講演「気候危機のリスクと社会の大転換」
江守 正多 氏 / 国立環境研究所地球システム領域副領域長
- 講演「日本における気候変動影響への適応の推進について」
向井 人史 氏 / 国立環境研究所気候変動適応センター長
- 講演「気候変動への日本の取り組み—つくばのイノベーションを踏まえて—」
国光 あやの 氏 / 衆議院議員・医師・医学博士
- パネルディスカッション
坂口 芳輝 氏 (環境省地球環境局総務課脱炭素社会移行推進室長)
江守 正多 氏 (国立環境研究所地球システム領域副領域長)
向井 人史 氏 (国立環境研究所気候変動適応センター長)
国光 あやの 氏 (衆議院議員・医師・医学博士)
森 拓介 氏 (つくば市政策イノベーション部長)
- モデレーター 大塚 隆志 (TGI事務局長)

お申込み お問い合わせ
参加申込みフォーム: <https://forms.gle/oXQHxhvWDFnkKf117>
TEL: 029-869-8030 申込み期限: 2022年2月21日 正午

・筑波研究学園都市科学技術支援セミナーによる研究開発等支援

2018年度から国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)と共催で開催してきた、つくばエリアの大学等研究者・橋渡し人材(コーディネータ・IC・URAなど共同研究・技術移

転・ベンチャー創出等の支援人材) 対象のセミナーを、2021 年度は TGI 主催で 4 回、つくばスタートアップパーク等共催で番外編を 2 回、各支援事業の公募時期にあわせ Zoom ウェビナー方式で開催した。毎回 50 名近い参加があり同事業の他機関でのセミナーとは異なる構成により実際に則した深い内容への反響も高く、質疑・意見交換も活発に行われ、つくばからの各事業への申請・採択数の伸びにも貢献した。

- 2021 年度第 1 回「JST の産学連携研究・技術移転支援と A-STEP 事業の活用」
【会期】2021 年 6 月 24 日 (木)
 - ・ JST の産学連携事業の考え方と研究フェーズ等の整理
 - ・ 近年の A-STEP トライアウト事業の採択結果と茨城県内機関の状況【講師】国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)

- 2021 年度第 2 回「NEDO の革新的・挑戦的な技術シーズ発掘支援のプログラム説明会」
【会期】2021 年 7 月 28 日 (水)
 - ・ 新技術先導研究プログラム RFI、エネルギー・環境先導研究プログラム、新制度説明
 - ・ マテリアル革新先導研究プログラム説明
 - ・ 官民による若手研究者発掘支援事業 (若サポ) 制度説明【講師】国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

- 2021 年度第 3 回「NEDO と JST の社会につながる産学連携研究開発・技術移転支援」
【会期】2021 年 9 月 13 日 (月)
 - ・ NEDO 新領域・ムーンショット部事業紹介 / 「官民による若手研究者発掘 支援事業 (若サポ)」公募説明
 - ・ JST 令和 4 年度産学連携・技術移転事業 / 今後の A-STEP 事業と地域支援【講師】国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) / 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)

- 2021 年度番外編 (1) 【STAPA Finance Day6】 START 事業 / SCORE 事業の活用と事業プロモーターの視点
【会期】2022 年 1 月 5 日 (水)
 - ・ SCORE 事業について / START 事業について
 - ・ 事業プロモーターによる支援とその視点 (眠れる種の皆様へ: ベンチャーを成功に導く要素と考え方、一事業プロモーターからのアドバイス)
 - ・ クロストーク【講師】国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)、QB キャピタル合同会社
【共催】つくばスタートアップパーク × つくばグローバル・イノベーション推進機構 (TGI)



●2021年度番外編（2）【STAPA Finance Day9】NEDOの行う研究開発型ベンチャー支援～NEDOのスタートアップ制度紹介やその考え方・申請におけるポイント

【会期】2022年3月22日（火）

【講師】TXアントレプレナーパートナーズ 尾崎典明氏 ※NEDOカタライザー

【共催】つくばスタートアップパーク×一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構（TGI）×株式会社つくば研究支援センター（TCI）

●2021年度第4回「JST研究成果最適展開支援プログラムA-STEP勉強会」

【会期】2022年3月23日（水）

- ・A-STEP事業の全体概要
- ・産学共同（育成型・本格型）の制度概要と申請の際の注意点・ポイント
- ・トライアウトの制度概要と申請の際の注意点・ポイント
- ・個別相談の際の注意点と次年度への準備について

【講師】国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）

3 会員との連携活動の推進

令和2年度に引き続き、正会員は18機関・社。

4 法人の運営に関する事項

TGIの事業全体の企画立案、計画の策定、執行のため以下のとおり会議等（メールおよびZOOM等での会議を含む）を開催した。

○総会

令和3年4月1日 第1回臨時総会

令和3年6月28日 第1回定時総会

○理事会

令和3年5月11日 第1回臨時理事会

令和3年5月21日 第2回臨時理事会

令和3年6月7日 第1回通常理事会

令和3年11月5日 第3回臨時理事会

令和4年1月13日 第4回臨時理事会

令和4年3月25日 第2回通常理事会

○経営会議

令和4年1月13日 第1回経営会議

令和4年2月15日 第2回経営会議